

追而各地狀況視察ニ就テハ其ノ述フル所或ハ局部ニ偏シ或ハ概略ニ止マリ
 尙ホ計數ニ關シテモ萬違算ナキヲ保シ難ク候得共要スルニ支那内地ノ廣汎
 ニシテ然カモ海陸六千哩ノ長途ヲ短日月ニ驅足的旅行ヲナシタル粗漏ト被
 思召幸ニ御寛恕奉仰候

大正六年六月

事務取締役 韓 相 龍

株式会社漢城銀行長男爵李允用殿

南北支那及滿洲視察報告書

目次

	頁數
旅行日誌	一
緒言	一
南北支那概觀	
東洋の大寶庫南支那	二
氣質を異にせる南北支那の人民	三
利我主義	四
支那人會社の内幕	五
日支兩國人の商賣振	六
長江沿岸に於ける列國の勢力	九
外國貿易品船舶の必要	三
支那の財政は整理の見込みあり	三

政府の歳出入豫算 六

複雑なる貨幣制度 八

租 税 一〇

支那關稅引上の影響 三

新舊兩様の内國銀行 三

超然たる外國銀行 五

銀價上騰と金融の逼迫 六

貨幣整理問題 七

支那に於ける日本の金融機關 七

工業熱の勃興と對外貿易 六

支那の貿易に於ける日本の地位 三

 鮮支貿易の現況 三

 鮮支貿易に對する私見 四

 日支貿易に關する希望 六

國民教育と大學の規制 四〇

日語普及の急務 四二

支那の統計 四三

京奉線 四五

天 津 四六

北 京 四七

京漢線 四八

汴洛線 四九

洛 陽(河南) 五〇

漢 口 五一

漢 陽 五二

武 昌 五三

揚子江 五四

長 沙 五五

湘 潭 五六

漢水航路 五七

大 冶	100
蘇 州	104
吳 淞	111
杭 州	113
南 京	117
上 海	124
濟南府	150
曲 阜	155
青 島	158
滿洲概観	
朝鮮と滿洲との關係	169
移住の沿革及原因	169
在滿鮮人の分布	170
在滿鮮人の職業	171
在滿鮮人の農事經營狀況	173
在滿鮮人の生活狀態	176
南滿洲の人口	176
鮮人に對する支那人の壓迫	178
領事館の保護と鮮人の救濟	179
大 連	181
南滿洲鐵道株式會社の概況	185
旅 順	188
營 口	189
奉 天	191
長 春	192
哈爾濱	194
吉 林	196
滿蒙の五鐵道	198
短 信 (京城日報社宛)	198
旅中偶吟	199

其の大半を達せるもの、以て自ら慰むを得べきか。

予等が行李匆匆京城を發せしは三月一日なりしが先づ奉天通過天津に直行し、夫れより北京、鄭州、河南、漢口、長沙、湘潭、大冶、上海、杭州、蘇州、南京、各地を歴遊し曲阜、濟南を訪ふて青島に出で、又た大連、旅順、營口を巡り奉天に趣き、更に北行長春、哈爾濱及び吉林地方を視察したり。此行費せし處の日時實に五十有一日、たゞ行務の都合上、本溪湖並に撫順を逸せしは遺憾なりき。

南北支那概観

東洋の大寶庫南支那

支那は素と是れ大國、鐵道沿線の如きも、茫漠たる曠野數千里に亘り、所謂太陽は畑より出で、畑に入る。殊に北京より河南鄭州に至る間にありては目に一山を見ず、又一樹の眺なし。要するに北支那は蒙古沙漠の變態せるものと見るべく、風一度至らば黃塵萬丈全く咫尺を辨ずる能はず。加之黃河附近は何等護岸的設備なく、豪雨出水を見れば濁流忽ち氾濫して南北數百里に亘る大海を現す。又畑の如きも其經營極めて大陸的にして且つ耕作方法甚だ整備せりと雖も之れが收穫を質せば比較

的大ならずと云ふ。されど鄭州を去る十里許り以南には山あり、沓あり、亦た竹林あり、四邊の風光宛として日本内地の如く、而かも地味肥沃にして沓には水利灌溉の便備あり、收穫にありても日本に比し敢て遜色を見ず、従つて支那の物産は南方に豊富にして北方は貧弱なり。即ち北支那には唯だ高粱、大豆、食鹽及び棉花等を産するに止まり、又輿地に於ては獸皮、山東省には生牛の如きに過ぎざるも、南支那に在りては米は勿論、棉花、茶、生絲其他各種の産物極めて豊饒にして實に同國の大富源地たるを共に東洋に於ける無盡の寶庫と謂ふを得べし。

氣質を異にせる南北支那の人民

前項叙述の如く南北支那は天恵上多大の軒輊あるが故に人民の富力に於ても亦自ら相違し、北方の民を南方の民に比すれば稍貧弱の感あるを免れず。されど彼等は爲めに勤儉質實の美風あり。之れを商業上に見るも常に正直確實を旨とし又借財の如き嘗て返済の時日を違ふことなし。従つて貸金の回収は最も確實なるも、南方にありては天恵に狎れて奢侈に流れ浪費多く且つ優柔懶惰にして射倖心に富み投機を好み等輕跳浮薄の弊風あり。従つて貸金の如きも往々回収難を訴ふる聲あり。金融業者は常に幾分の缺損を見込まざるべからざる状態なり。又湖南省の人民の如きは何れも資性敏達亦た善く節義を重ずること恰も日本人の如し。世人稱して小日本と呼べり。従つて湖南は古來人

傑に富む。嘗て清帝中興の功臣三十二人の畫像を描かしめたるに其内八人を除くの外は悉く湖南省の出なりしと云ふ。現に曾國藩、左宗棠、黎元洪の如き、何れも皆湖南の人なり。又嘗て支那内地に長髮賊起り勢猖獗にして各省其殆ど陥落征服せらるゝに至りしことありしが當地湖南省のみは彼等の兇暴を以てしても如何ともする能はず、遂に些の損害をも蒙らざりき。同省長沙に近き嶽麓山腹に嶽麓書院あり、現時師範學堂となりて教育者を養成しつつあるが其の門前には國恥記念と大書し下方に阿片戰爭以來日支交渉事件に至る間の顛末を詳述せる一大額面を掲げ居れり、以て省内民衆の氣風をよするに足る可し。

利我主義

以上は兩者の比較觀察なるが、之れを總括概言せば一部の人士を除きては官民に論なく極端なる利己主義にして己の利害に直接關係を及ぼさざる限り國運の隆替、社會の變動毫も顧る所なく朝暮唯之れ個人の收利に汲々たり。尙に國內動亂を絶たず時局の紛糾止む時なきは又謂なきにあらざるなり。従つて個人として支那人は極めて忍耐力に富み多少の侮辱迫害は意に介する所にあらず。根氣旺盛にして且つ他を容れ易からざる氣風あり。勞働社會に於ては殆んど外國人を見ず、是れ生活程度の相違著しきに依ると雖も亦外國人が此點に於て匹敵する能はざるに負ふ所少なからず。之れ彼

等が個人的に今日の成功を收めし所以にして此の方面に於ては恐らく世界何れの人種なりとも之れに打ち勝つこと能はざるべし。

支那人會社の内幕

支那人經營の會社には重役對普通株主の兩派ありて其の權力均衡し四時紛擾を絶たず。又事業を經營するに當りては各自利己主義を主張し會計の不整理なる帳簿の亂難なるは勿論、物品の賣買に對するコンミッションは公然の收入と目され、手数料を拒むものゝ如きは却つて世人の疑惑を惹くを常例とす。而かも其の事務員の給料は實に驚くべき高額なり。此の風潮は諸會社比々然らざるなきが、中にも大會社と目さるゝ漢陽鐵工場及武昌四局の如きは殊に不整理の狀を示せるのみならず、其經營方法にありても因循姑息全く消極的なる觀あり。

但し漢陽機織子機廠の如きは例外にして總辦王氏は嘗て米國に遊び歸りて當廠を設置せるが未だ一人の外國人技師を聘せず外人役員を置かず、獨立獨行、縱横の劃策、事毎に功を奏して、實に支那人中珍らしき産業界の偉材なり。年齒不惑を越ゆること遠からずといふ。

支那人の經營に係る諸會社は、大體前述の狀況なるを以て大工業の勃興を見るは前途尙は遼遠なる可きも、唯天津方面に於ける紡績事業は將來望あり。現に支那人より成る資本金二百五十萬兩の會

日本人約八萬五千人、支那人約五十五萬人、外國人約三百人なり。而して之れを十年前即ち明治二十八年末の數との百分比を採るときは百に對する百七十なりとす。

尙ほ更に同管轄内の鮮人を摘録すれば左の如し。

地名	旅順	大連	遼陽	奉天	本溪湖	撫順	鐵嶺	長春	公主嶺	安東	計
戸數	二	一七	一	一三	五	八	二四	四	二	三三	八八
人口	八	六九	一	一〇九	二九	八六	五二	一七	九	一四七	五二六

更に東三省に於ける鮮人數は三十二萬八千五百八十七人にして、是等は主に安奉線より東北に集團し且多數を占め、同線より西南には尠なし。北間島龍井村約七萬人、西間島輯安約五萬人、懷仁(西間島附近)約三萬人、臨江約三萬人、直洞(北間島附近)約三萬人、安東、通化、長白、琿春、局子街各二萬人、綏分局子約一萬人居住せり。

朝鮮人々口に就ては前述の數字と差違あり何れが眞なるや暫く併記して以て後日を待つ。

鮮人に對する支那人の壓迫

支那人は從來朝鮮人を宛かも自國人の如く思惟し、韓國人として土地の所有權をも附與し頗る親切

に取扱ひしが、往年日韓併合後鮮人が日本人となるや、支那人忽ち態度を一變し、是等を全然外國人取扱と爲すのみならず、概ね横暴を極め壓迫を加ふるに至れり。而して鮮人に於ても亦支那人に對しては自然驕慢の風となり、支那人の壓迫に抵抗し加ふるに一朝事起る時は、日本領事館は支那官憲に對し之れを交渉するを以て、支那人大に感情を害し神經過敏となり、果ては外國人たる理由の下に其の内地雜居をも許さず、益々鮮人に對して百般の妨害を試みつゝあり。

支那人は由來水田耕作の經驗乏しき爲、開墾の最初は鮮人を使役して起墾せしめ、其方法を修得したる後は其小作權を解除し、又は鮮人の開拓したる土地を悉に己の所有權となし、之を横領して鮮人を放逐す。例へば露領附近の綏汾河方面の如きは從來二、三千人の鮮人來住し、無人の土地を開拓し水田六千晌(一晌は我四反歩許)を得たりしが、一昨年支那人龍伏華なる者官廳より開墾許可を得たりと稱し、耕作鮮人に對し小作料を要求し若し之に應せざれば直ちに同地を退去すべしとのことに、鮮人等は尤に憤慨し種々抗議をなせしも遂に其效なく、止むなく一晌に付年四留即ち二萬四千留宛を納付するに至りしを、鮮人等は哈爾濱日本領事館に訴出でたれば、領事は適當なる條件を以て今支那官憲に交渉中なり。

斯くの如く鮮人等は折角支那へ移住して苦辛慘憺田畑を開拓し漸く成功の域に至れば、支那人より理不盡なる壓迫を受け、不幸に遭遇しつつあるは誠に慨歎に堪むざるなり。

其他農業資金及び器具料の如き最も高利にて貸附け、剩へ小作料の増收、貸附米錢の督促を嚴酷にし利子を益々引上げる等有ゆる手段を講じて之れを壓迫し追放しつゝあり。又支那官憲に於ても排鮮人的の意味にて重き税金を課す。

然れども支那人は如上鮮人を壓迫しつゝあるも、一方には鮮人の來住者を見る時は直ちに自國に歸化せんことを慫慂し之を強ふ、されども支那人は鮮人を加護するの能力は素よりなく、唯自己の便利を謀る爲め其歸化を強ふるのみ、故に従來歸化したる鮮人は漸次自覺して朝鮮に復籍し、又多くは復籍せんとしつゝあり。

領事館の保護と鮮人の救濟

従來は併合前は勿論、併合後と雖も在滿鮮人に對しては其の調査未だ不充分にして又方針も未定なりしが如く、在滿帝國官吏にしても殆んど是等を保護する途なかりしが、近時漸く其の調査を逐ひ方針定まりたるを以て、各地の帝國領事館は之れに對する各種の施設をなしつゝあるを以て、在滿鮮人としては一大光明を認むるを得たり。今其施設の概要を左に記述せん。

一、各都市に鮮人居留民會を置き奥地の鮮人と連絡を取らしめ、其の事情を調査し相互の氣脈を相通せしめ、種々の便益を與へ居れり。奉天、哈爾濱、安東縣居留民會の如し。

一、各地に鮮人學校を設立して其子弟の教養に後顧の憂なからしむ、鐵嶺、哈爾濱等は既に開設せらる。

一、土木工事等には可成的鮮人の労働者を使用し彼等に職業を與へ、途上流浪する鮮人あれば之を救濟し或は旅費を與へて朝鮮に歸還せしむる等誠に温情湧くが如し。

一、支那人の壓迫に對しては其都度夫々支那官憲に抗議を申込み、其善後策を講し其他是等事件發生を未前に防く方法を取る等種々便益を與へつゝあり。

如上の施設は一視同仁の皇恩に浴せる今日に於て帝國官民としては、尤も適切なる事にして今回の滿支視察に際して一層其感を深からしむ。在滿帝國官憲諸彦に對して一層の敬意と感謝とを表せんぞす。

然れども猶希望として二三の愚見あり。

一、滿洲各地に朝鮮の金融組合の如き金融機關を施設して低利の農業資金を貸附け支那の高利貸金を除去せしむること。

一、滿洲各地に學校を今一層増設して鮮人教育を普及せしめ、普通の智識技能を授け且つ時勢を了解せしむること。

一、滿洲主要都會に於ては朝鮮側の金融機關を誘致し鮮人商業家を指導獎勵すること。